



通算第102号

1965~1966-3-30

函館北ロータリークラブ

第91回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

ベック州ハフランス語、真中ト西ノ方ハ英語デス。フランス系ノ人デモ英語ヲ習ワネバナリマセン。「モンリオール」ノ大キナ店デハ、英語トフランス語ガ出来ナケレバ雇イマセン。

私ハ日本ニ来ル時、1年半位日本語ヲ勉強シマシタ。始メハ鹿児島ニ行キマシタガ、習ツタ日本語ハ駄目デシタ。ソレハ、生徒同志ノ話ヤ、職員会議デハタクサン鹿児島弁ガ出ルノデワカリマセン。函館ニ来テ、東京ト同ジデ良カッタデス。私ハ段々日本語ガウマクナルデシヨウ。

「カナダ」デハ色々 change ガアリマシタ。道路ハ毎年ナオンテイルノデ、函館ニ較ベテ大分良イデス。予算ノ関係モアルデシヨウ。雪ハ同ジデス。

昨年9月カラ教育ノ change モアリマシタ。例エバ小学校ノ前ニ幼稚園ガ2年間アリ、昔ハ試験ニパススレバ小学校2年ニ編入出来タガ、今度ハ駄目ニナリマシタ。又昔ハ何回デモ落オシマシタガ、今ハ3年間ハ落オセズ、3年目毎ニ落オシマス。次ニケベック州デハ、小学校9年デアツタノガ7.8年ハ中学位ナリ、9~11年ガ高校デ、12.13.年ガ institute、14~17年ガ大学デス。学校ニハ公立ト私立ガアリ、カトリックト新教ノ別ガアリマス。宗教ノ無い学校デハ道德教育ヲシマス。ソレカラ高校ノ授業ガ専門ニナツタノデ、専門ノ先生ガ足りナイノデ固ツテイマス。

3月ノ「カナダ」デハ「メープル・シュガー」ヲトリマス。紅葉カラトル水デ、スープ様ノモノフツクリ、卵ヲ入レ、パンデ食べマス。少シ焼クトシロップ様ニナリ、モツト焼クトシュガーニナリ、美味シイモノデス。

「カナダ」ノオ正月ニハ「フランス」ノ習慣ガ残ツテイマシタ。オ正月ノ朝ハ家族ミンナガヒザマツキ、オ父サンカラ祝福ヲ受ケテカラ食事ヲシマス。昼ハオジサンノトコロニ行キ、ソレカラ「パーティ」ラヤリマス。夜9時過ギカラ翌朝マデヤルノデス。私ハ日本ノ「レコード」ヲ持ツテ行ツタノデ珍シガラレマシタ。又従兄弟ガ私ノ日本製ノ時計ヲ見テ慾シガツタノデ交換シマシタ。セイコー社ノ8千円位ノ時計デ、ムコウノハ75ドル位ノ英国製品デシタガ、函館ニ来タラスグ駄目ニナリマシタ。

「カナダ」ノ人ハ日本ノモノヲ慾シガリマス。安イコトト、戦争前ノハヨクコワレタライガ、今ハ良イモノニナリ感心シテイマス。今度「カナダ」ニ行ク時ハ時計ヲ10コ位持ツテユキマス。

モン皆様ガロータリアントシテ、又ハ個人トシテ「カナダ」ニ行カレタラ、私ノ家ニ泊ルコトガ出来マス。キット楽シイデシヨウ。

出席報告

先週ノ確定出席率 79.31%

本日のプログラム

卓話 ♪南千島について〇 函館R.C. 原 忠雄氏

- 司会 遠藤会長 斉唱 奉仕の理想
- ビジター 曾田玄陽君(森 牧畜) 谷 義一君(森電気工事)
- 菅谷敬三君他9名(函館) 齋藤誠太郎君他9名(函館東)

幹事報告

1. 350地区ガバナー・ノミニー岡田正雄氏より会長宛に、デンバー大会出席に際しての挨拶状をいただきました。
2. 先週のアツセンブリで、当クラブの例会には自由な服装で出席してよろしいと決定しました。(会報101号参照)
3. 室蘭東R.C. 新年度役員は、会長市来伸代氏、幹事川瀬敏治氏
4. 西尾音内(にしもない)R.C.(秋田県)2月12日国際R.C.に正式加盟、例会日毎週水曜 12時30分より、場所「丸谷」

卓話 "肉牛について"

曾田シャロー牧場長 曾田玄陽氏(森R.C.)

ヨーロッパの会議に出席するため、明後日日本を出発するところです。日本人は、牛肉は神戸、松坂、近江牛が世界一だと思つてゐるが、必ずしもそうではなく、後で述べますが日本人の食べ方に問題があるのです。現在の家畜としての牛は、野牛(ヤク、水牛、バファロー等多数)が慣らされたものです。我が国には先ずヤクの変種が入つて来て農民に使われ、次いで百濟から朝鮮牛が入つて来ました。後醍醐天皇の頃には牛肉の壺詰めがあり、又鳥羽上皇はバター、チーズを好まれたとあります。明治以後は主に英国系の牛が輸入されました。今日の神戸、松坂、近江牛、北海道のホルスタイン等は各国の牛の交配によつて出来た近代和牛です。

牛は長い間物を運んだり、畑を耕すのに使われて来ました。実は神戸、松坂牛等も使役の牛でした。尻が大きく、乳房が大きいのは邪魔になり、屠殺されて、肉の少ない牛が残りました。従つて良い肉牛にするには、1年位良い飼料

を与え、更にはビールや焼酎を飲ませ、毎日身体を洗つてやり、朝は「おしほり」を持って牛舎を訪れる——まさかそれ程ではないにしても、手のかかる飼育をせねばなりません。近年農耕が機械化されると、牛は使役用ではなく、肉と牛乳を生産するものに変つて来ました。先進国では100年も前から方針を変え、既に肉量の多い安い牛をつくつています。我が国では明治以後も放置され、品種の改良に手をつけなかつたのは残念です。

然しそれは日本人の舌に問題があつたのです。日本人は米の副食として肉を食べ、醬油に合つた肉を喜びます。実際には古くなつて柔らかくなつた、栄養のおちたもの食べていることになります。何れにせよ使役牛に金をかけて肉牛にしているのが現状です。私は戦後26回外国に行き、良い交配牛はないかと探し回りました。米の御菜になり、醬油に合い、早く大きくなる安い牛を沢山つくり、外国より3割高の日本牛肉を、4割下げたいと努力しています。

今日ではアフリカやインドでも肉を食べるようになり、各国共使役牛が機械化の影響で減少し、増え方は緩慢で、牛肉は品不足で引つ張りだこです。肉不足になれば値上がりして良いではないと言われるが、実は値上りすると売れないので、安くても良いから平均された価格で、沢山売れるようであれば商売になりません。私はそのような考えで牧場をつくりました。

栄養上の蛋白には3種あります。水産蛋白は対外折衝の如何にかかつてるので制限され、植物蛋白も日本の国土よりみて期待薄です。一方日本の残された未開地はどうでしょうか。雑木を殖えると反当り430円位の水揚げがあり牧草を殖えると5千円になり、そこに牛を飼うと反当り2万円になります。何れを選ぶかは国民の意志により決定出来る、換言すれば重要な動物蛋白をいくらでも得ることが出来るのです。道南も然りです。

私は函館をみていつも不思議に思います。何故生産に結びついた祭り一例えば水産祭りとか畜産祭りとかが無いのだろうか。外国では主食である肉の出し入れは港なので、そこに沢山集まるため必ず盛大な畜産祭りがあつた。もし函館で大畜産祭りが行なわれれば、私は3、4百頭の牛をひきつれ、ローハイ下よろしく掛け声も高らかに、ねり歩きたいとの夢を持っています。良い牛を多く入れ、良い肉をつくり、函館に大肉市場をつくりたいと夢見ています。副業の畜産が企業となり得る北海道でのこの夢は、決して荒唐無稽ではないでしょう。漁業は投機ですが畜産は投資です。投資が盛になれば投機も盛んになります。函館の意慾を望む所以です。

※ 出席報告

先週の確定出席率 79.31% (函館95.77% 函館東100%)



算第103号

1965~1966-4-6

函館北ロータリークラブ

The Weekly Report Hakodate North R.C.

第92回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

- ※ 司会 遠藤 会長
- ※ 齊 唱 君が代、奉仕の理想
- ※ ビジター 石井久雄君 (浦和 化学工業 触媒製造)
- 窪田清蔵君 (札幌 幌南 醸造) 谷義一君 (森 電気工事)
- 宮崎善四郎君他9名 (函館) 尾形十一君他10名 (函館東)

※ 幹事報告

1. 例会終了後理事会を行ないました。
2. 国際R.C.正式加盟 桐生南 (3月4日) 青森北東 (3月30日)
3. チャーター・ナイト 藤沢北 (4月24日) 鹿島 (5月29日)
- 伊豆長岡 (5月29日) 指宿 (6月25日)
4. 第360地区年次大会 岐阜市 (10月8日)

※ ニコニコ・ポツクス

1. お誕生日おめでとう。木村君 (27日)
2. 奥様のお誕生日おめでとう。木村君 杉本君
3. 御結婚記念日おめでとう。飯田神生君 木屋君 宮崎君 市川君
4. 御子様の御入学おめでとう。塚田耕三君 (函館西高等学校)
- 高田則文君 (北海道大学文類) 市川路子さん (明治薬科大学)
5. ビジターの石井さん、西村敏雄さん (函館東) より御寄附をいただき有難うございました。石井さんは西村さんのお婿さんで、日本青年商工会議所で活躍している方です。

※ 卓 話 〆南千島について、 函館R.C. 原 忠雄氏
南千島即ち北方領土の問題は、未解決の新しい且つ古くから日本が悩まされてきた問題です。千島列島は全長1090km、24の島があり、そのうちのエトロフ (周囲300km、最大)、クナシリ、ハボマイ、シコタンは南千島4島が問題なのです。世界地図には約300年前に登場しています。

日本では約500年前から「蝦夷が千島」の名があり、本道の奥に沢山島があるらしいとわかつていました。日本人で最初に千島に行つたのは最上徳内です。彼は180年前幕府 (老中田沼意次) の命により調査団を編成して、千島の金銀を探したとあります。更に松平楽翁が千島に日本の勢力を築くため近藤重蔵を遣わしています。然し当時既にロシア人がいてトラブルはありました。

幕末の「下田条約」で先ずエトロフ以南は日本領土、樺太は雑居と取り決め